



午前中の本殿前の豆まき

生憎の雨模様となった二月三日、災難消除を願う節分祭を斎行。宗像観光協会(会長 吉武邦彦氏)との共催による豆打式は午前と午後との二回に分けて行われ、「福」を授かろうとする約一五〇〇名の参拝者が詰め掛け、寒さを感じさせない熱気で賑わった。

宗像観光協会との共催による節分祭も二日目。今年の節分は日曜日となり、多くの参拝者が詰め掛けることが想定された為、例年、大駐車場前の祈願殿で行われていた節分祭と豆打式を、皆様に事故なく、より多くの方々にご参加頂こうと本年から本殿で行うこととした。また、福豆も同協会と協力し昨年の倍、六



午後の祈願殿内での豆まき

# 節分祭斎行

午前と午後の豆まきに約一五〇〇名が参集、六万袋の福豆が撒かれる

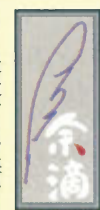


# 宗 像

遷宮で結ぶ人の輪心の輪  
第六十二回神宮式年遷宮

## 3月祭事暦

- 毎月1・15日 月次祭  
午前10時～  
高宮祭  
第二宮・第三宮祭  
宗像護国神社祭(1日)
- 午前11時～  
総社祭  
浦安舞奉奏(1日)  
豊栄舞奉奏(15日)
- 4日 氏貞公墓前祭  
午前11時～  
於=宗像市上八氏貞公墓前  
本年は神式で斎行
- 19日 松尾神社祭  
午前11時～
- 23日 皇霊殿通拜式  
午前10時～



年末に玄界灘のふぐを口にしたが非常に美味だった。すると最近、この海で魚が獲れないという報道番組を観た。取材のきっかけは玄界灘でどのような魚が獲れているのかを調べると、漁獲量は減り、魚類相も変わってきているとの事だった。この百年で海水温は世界平均〇・五度、日本全体では〇・七〜一・六度の上昇がみられ、九州では一・二度の上昇しているという。この海水温上昇は昨年の白潮現象などにも関係があり、漁獲高にも影響を及ぼしたようである。さらに、黒潮や対馬海流に乗ってくる死滅回遊魚(回遊性が無く生息条件が悪くなると死滅する魚)が近年の冬の水温低下程度では死滅せず、貝類などの餌となる海藻を食べ尽くしてしまい、今まで獲れていた魚介が獲れなくなつたと、確かに昨年の沖ノ島奉務時に素潜り漁に来ていた漁師の方が、海中には藻が生えておらず南方の魚が泳いでいると言っていた。ここ数年、沖ノ島と関連遺産群を世界遺産登録へと県、宗像・福津市を中心に盛んな活動が見られる。登録され沖ノ島の古代から今に至る信仰形態、遺跡出土神宝等や地域の自然と歴史の価値をより多くの方々が知って継承して頂きたい。その折には沖ノ島に欠かせない玄界灘本来の豊富な魚介類をも後世に残したいものである。(T・I)

### 神具・装束 結婚式場調度品

福岡店 〒812-0045福岡市博多区東公園2-31  
電話 福岡(092)651-9456番  
本店 〒600-8231京都市下京区油小路六条北入  
電話 (075)341-3341(代)~4番  
(075)343-3341番



### 木組の家 匠の技

総合建築業 株式会社 弘江組  
〒811-3406福岡県宗像市稲元1025 電話(0940)32-2567

万袋の準備することとなり、年明け早々から準備が進められた。豆打式での各種催しには同協会をはじめアクシス物産館、鐘崎港ふく船団、福岡サニックスブルース、玄界高校邦楽部にも御協賛頂き、更には氏子青年会員の協力を賜り今までに無い節分祭となった。

当日は朝から小雨が降る生憎の天候となったが、当初の



初の試みであったが、大盛況でした。

予定通り午前十一時、本殿にて祭典を決行。高向権宮司が無病息災・延命招福の祝詞を奏上、続いて拜殿上左右二手に分かれた神職により追儺の神事「鳴弦の儀」が執り行われた。二人の神職が桃弓・葦矢を携えて、一人は天空に向け、もう一人は地上に向けて矢を三度射る所作を行い、次に弦を三度打ち天地の邪気を祓い清めた。その後、各代表が玉串を

捧げ今年一年の厄除開運を祈念した。

祭典終了後、神職や年男は本殿横に特設された櫓に移動。詰め掛けた参拝者が待ち受ける中、渡邊禰宜の先導による「鬼は外、福は内」の発声と共に、袴を着用した年男一同が用意された福豆・菓子を撒き始め、本殿周辺は瞬く間に熱気に包まれた。参拝者が多く入場

制限を行つての豆打式となり、一回目の豆まきが終了すると、参拝者はすぐに氏子青年会員の誘導で総入れ替えされ、引き続き二回目を催行、各々福運を手にした。

一方同時刻、斎館前庭では児童のみを対象とした豆まきも行われ、プロラグビーチーム「福岡サニックスブルース」の選手らが福豆をまき、子供たちの黄色い歓声が周囲にこだました。

福豆には多くの「当たり券」も入っており、「当たり」を拾った参拝者は宗像大社の景品付きおみくじ「福みくじ」一回無料券、今が旬の「玄海とらふぐ刺身・鍋セット」、宗像産の「朝どり野菜」、「サニックスブルースのグッズ」、「アクシス物産館お買い物券」などと引き換えられていた。

境内には、同協会による様々な露店が出店され賑わいをみせていたが、なかでも限定一〇〇〇名の「とらふぐつみれ鍋」は大盛況で、冷たい雨の中長蛇の列が出来ていた。また、当日は「福岡県民体育大会」郡市対抗駅伝競走大会の



追儺の神事「鳴弦の儀」



斎館内ではサニックスの選手が豆まきを行いました。



長蛇の列が出来た「とらふぐつみれ鍋」の振る舞い



雨にも関わらず、入りきれないほどの方々が集まりました。

コースが、境内脇の県道六九号線となり駐車場は満車、周辺道路は正月を髣髴とさせる

渋滞となった。午後からは午後二時より催行。まず本殿において、長年に



午前中、子供たちを対象とした豆まきの様子

巨り御自身の畑で作られた大豆を節分祭の福豆として奉納頂いた深田虎重氏(宗像市田島在住)へ、高向権宮司より感謝状と記念品が贈呈され、同氏のご厚志に深く感謝申し上げますと共に、鄭重に御礼を申し上げます。

正午過ぎより雨脚が一段と強くなった為、豆まきは急遽祈願殿に変更、同授与所の二階より豆打式が行われた。年男には地元選出の渡辺具能衆議院議員をはじめ、福岡サニ



取材も入った事前の福豆奉製作業の様子

納演奏も急遽拜殿で行うこととなり、本殿周辺には勇壮な

ツクスブルースの選手等が奉仕され、用意された福豆・菓子を撒き始めると参拝者の歓声で湧いた。かなり激しい雨であったが、一回目同様多くの参拝者が詰めかけ、やはり三回に分けての豆まきとなった。また、同じく境内で予定していた玄界高校邦楽部による「宗像太鼓」の奉



玄界高校生による「宗像太鼓」



毎年福豆を奉納いただき、表彰を受けた深田虎重氏

太鼓の音が鳴り響いた。屋外での豆撒きに支障を来すほど天候には恵まれず、参拝者の皆様には急な会場変更等ご不便をおかけしましたが、昨年にも増して盛り上がりをもせた平成二十年の節分祭となりましたことを、ご協力賜りました皆様方に厚く御礼申し上げます。来年も多くの皆様に宗像大神様の「福」を持ち帰って頂ける様取り組んで参ります。

## 海洋神事奉賛会 初会合開催

一月二十六日、宗像大社海洋神事奉賛会初会合が村田繁美会長、沖中両宮奉賛会古賀理会長以下各漁協よりの代表者八名出席のもと当大社で開催された。

午前十一時、会合に先立ち本殿で大漁祈願祭が斎行され、今年一年の大漁満足・海上安全が祈念された。引き続き会合へと入り、本年の若布献上に関する件と「みあれ祭」について審議された。

まず、昨年度の若布献上に関する経緯を、昨年の海草献上業務担当神職が報告、続いて本年の担当神職が紹介された。そして審議の結果、各漁協からの随行者は慣例により、宗像漁協本所(神湊)と同地島支所から選定頂く事となり、若布の採取は例年通り地島支所へ一任することが決定された。現在の若布の生育は



順調であり例年通りに奉納出来そうであると報告された。次に「みあれ祭」についての反省や課題について審議され、海上神幸は昨年通り縦列にて行う事に決定し、初会合は終了となった。

本年の若布は三月中旬に献上される予定である。

# 「沖ノ島と関連遺産群」世界遺産登録活動進行状況

## 「継続審議」として課題解決への取り組みと提案書の再提出

宗像市役所  
秘書課

宗像市が、福岡県・福津市と共同で世界文化遺産登録を目指している「沖ノ島と関連遺産群」は、昨年一月の世界文化遺産国内暫定一覧表への追加記載における審議の結果、継続審議となりました。

その際に提示された課題やその後文化庁との意見交換の内容を整理すると、大きく三点の課題があります。その課題とは、提案書の練り直し、沖ノ島の知名度が低いという点、国際的な視点での検討が必要という点です。

そこで、その課題解決に向けた取り組みを行ってまいりました。提案書の練り直しについては、本遺産の題名を「宗像・沖ノ島と関連遺産群」とし、宗像という地名および古代豪族の名前を加えることで、一般に知られていなかった本遺産の位置づけを明確にしました。提案書の要であるコンセプトについては、前回、沖ノ島での国家的な祭祀と東アジアとの対外交渉を主体に作成してまいりましたが、今回は沖ノ島そのものの自然、そうした環境下で行われていた信仰、その信仰が今日まで継続している点などを強調しています。それに伴いまして、沖ノ島に生息・繁殖する動植物のなかで環境省が絶滅危惧種に指定している希少な動植物の写真や宗像大社での神事やお祭りの写真などを加えました。また、

沖ノ島祭祀遺跡の写真に加え、そこから出土した約八万点にものぼる国宝の内、その一部を紹介しております。提案書は、昨年十二月二十五日に文化庁へ再提出いたしました。

本遺産の知名度については、「不言島」という禁忌のもと、見たもの聞いたものという切口外してはならないという掟が、世に知られることがなかったという理由としたら、まさに生きた伝統文化として現在まで守られていることになりそうです。とはいえ、世界遺産登録を目指すためには、やはり認知度を高める必要があります。そのため、本遺産を紹介するリーフレットや映像を作成し、イベントや行事などで、配布し、上映などを行いました。また、本遺産の価値や内容を広く理解していただくために、十二月二十四日に東京シ

ンポジウムを開催しました。東京シンポジウムは、早稲田大学国際会議場で開催し、会場の定員である四五〇名の参加者を集め、関心の高さを証明するものとなりました。関東一円から集まり本遺産の知名度を高める絶好の場となりました。冒頭、基調講演をいただいた吉村作治氏は、「エジプト文明の調査、研究が本業であるが、その文明の東への伝道の終着点が日本であるとすれば、ここ宗像の沖ノ島を中継点として日本に伝わったのであるから、私が関わる意義があるというものである。」というコメントをいただきました。また、各先生からもその専門分野の視点に立つて本遺産の価値を証明していただき、また、多くの方々にその貴重な遺産を紹介することができました。

国際的な視点での検証では、十二月二日に九州国立博物館におきまして国際シンポジウムを開催しました。講師には、中国や韓国の研究者をお招きして本遺産の東アジアにおける価値や位置付けを議



文化庁へ提案書を提出 (左から池浦・福津市長、谷井・宗像市長、植崎・興勢教育次長、高橋・文化庁次長、渡辺・衆議院議員)

する必要があるという点です。また、

宗像大社での神事やお祭りの写真などを加えました。また、

宗像大社での神事やお祭りの写真などを加えました。また、

論していただきました。海外の研究者から見ても本遺産が世界遺産としての価値があるということを検証することができました。特にカットグラス碗片、金銅製龍頭や金製指輪については、パネルディスカッションにおいて中国、韓国の先生方と日本の先生方との熱い議論が交わされました。

今回の提案制度で日本国内から文化庁へ提出された国内

暫定一覧表への追加提案は、全三十二件に上つています。国内暫定一覧表への追加記載を審議する世界文化遺産特別委員会では、あらかじめ、時代や内容ごとに四つのワーキンググループにわけて審議を行うこととなりました。本遺産は第四ワーキンググループに位置付けられ、以下に示す九件が同じワーキングに属します。

「天橋立―日本の文化景観の原点」

「阿蘇―火山との共生とその文化的景観」

「最上川の文化的景観―舟運と水が育んだ農と祈り、豊饒な大地―」

「霊峰白山と山麓の文化的景観―自然・生業・信仰―」

「若狭の社寺建造物群と文化的景観―神仏習合を基調とした中世景観」

「三徳山―信仰の山と文化的景観―」

「四国八十八箇所霊場と遍路道」



東京でのシンポジウム。講演は白根大一郎・奈良大学教授

「宇佐・国東―「神仏習合」の原風景」

「竹富島・波照間島の文化的景観―黒潮に育まれた亜熱帯海域の小島―」

第四ワーキンググループとは、「時代を超えて、人と自然との関わりを中心とする遺産」に関係するものです。二月から三月には、文化庁において提案書を提出した自治体との個別ヒアリングを行い、四月以降、国内暫定一覧表に記載されるか否かが決定されます。

最後に、国内暫定一覧表への追加記載され、世界遺産への本登録が実現しますよう、みなさまのご協力ご支援、さらには応援をよろしくお願いいたします。

提案書の内容については、市のホームページからご覧いただけます。  
<http://www.city.munakata.lg.jp>

## 宗像大社菊花会 新年総会を開催

一月二十八日午前十時より、神湊・魚屋旅館で宗像大社菊花会の新年総会並懇親会が開催された。

当日は一月下旬としては、近年にない温暖な天候に恵まれ、九州各地から宗像大社菊花会の会員約七十名が一同に集合し総会は始まった。

され、今年の方  
向性が承認され  
た。  
総会終了後に  
は菊作り講習会が行われ、今年は(社)全日本菊花連盟理事篠原廣光先生による「巨大輪作りへのアプローチ」と題した勉強会が行われた。

昨年第三十六回大会の反省と、今年の第三十七回大会の行事日程、九州菊花連盟九州大会の運営等について協議

正午には講習会も終了し、大広間で新春懇親会が行われ、宗像大社菊花会千々和会長からの挨拶の後、宗像観光協会吉武会長の発声により乾杯が行われ懇親会は始まった。一同玄海の海の幸を充分堪能しながら、今年の第三十七回大会への更なる意気込みと、十一月の再会を誓い午後三時終了した。

正午には講習会も終了し、大広間で新春懇親会が行われ、宗像大社菊花会千々和会長からの挨拶の後、宗像観光協会吉武会長の発声により乾杯が行われ懇親会は始まった。一同玄海の海の幸を充分堪能しながら、今年の第三十七回大会への更なる意気込みと、十一月の再会を誓い午後三時終了した。

尚、今年の第三十七回西日本菊花大会は十一月一〜二十三日で開催されます。



平成20年 宗像大社菊花会 新年総会

# 文化財防火デーに伴う

## 第三十四回

# 防火訓練

一月二十六日午前九時五〇分、火災報知器のベルが正月の賑わいも一段落ついた境内に突然鳴り響いた。当大社自衛消防団へ出動を促す警報となった。



実は「第五十四回文化財防火デー」に合わせ、宗像大社自衛消防団、宗像地区消防本部、宗像市消防団(第二・七・十一・十二分団)、宗像市女性消防団、宗像警察署(地元四駐在所)合同で三十四回目を迎えた防火訓練の合同であった。



訓練は午前九時五〇

分、本殿裏の森から出火し、国指定重要文化財の本・拝殿に火勢が迫っていると想定で開始された。

火災を発見した巫女が直ちに火災報知器を押し、社務所に通報。当大社自衛消防団は本殿へ急行。巫女並びに宗像市女性消防団がバケツリレーを行い、屋外・地下消火栓から施設消火班の神職、管理員、又地元宗像市消防団第十一分団が放水を行い初期消火にあたった。

続いて午前十時、折からの強風にあおられ、祈願殿に延焼拡大したとの想定で一一九番通報。通報を受けた宗像地区消防本部・宗像市消防団の各消防車両がサイレンを鳴らしながら第一駐車場に集結。各隊、統制のとれた動きで配置につき、一斉

に祈願殿屋根に放水を開始。本番さながらの消火活動を繰り広げ、数分後鎮火となった。

消火活動終了後、宗像市長、宗像地区消防本部長、宗像市消防団長より講評、最後に神島宮司が防火訓練協力の御礼挨拶を行い防火訓練を無事終了した。文化財は国の宝、民族の宝であ



り、これを火魔より守り後世に伝えていく責任は現代に生きる者我々の使命である。より一層の防火に対する意識の向上が求められている。



## 春まつりのご案内

春の大祭を左記行事日程で斎行致しますので、皆様方お誘いの上御参拝下さいますようお願い申し上げます。

三月三十一日(月) 午後五時 総社地主祭

午後六時 宵宮祭

四月 一日(火) 午前十一時 大祭

(氏子奉幣・主基地方風俗舞・浦安舞)  
二日(水) 午前十一時 総社祭(海洋神事業奉賛者表彰)

交通安全講社祭

午前十一時四十分

宗像護国神社

高宮祭

第二宮・第三宮祭

午後二時 献茶祭(南坊流小方社中)

(続)

# 浜の寄物

223

いしいただし



昨年十一月、谷川健一氏や装幀家の毛利一枝さん等と、沖縄県・宮古島に渡った。漲水(はりみず)繩嶽(うたき)や人頭税を見、北端の狩俣(うたき)まで巡ってきた。翌日、空港へ向うところで、案内の人が久松の

五勇士の碑を見ますかと言うので、降ろしてもらい碑を見た。十本のコンクリートの柱に支えられ、サバニ(くり舟)が乗っていた。下に五勇士の懸命に漕ぐ姿と、勇氣、決断の文字が大きな

港。一月遅れて、後発隊がつづき、翌三十八年二月には第三艦隊が出港した。目指すは極東ウラジオストックである。世界史上初の大艦隊による大航海である。一隊はジブラルタル海峡を抜けて地中海に入り、スエズ運

河を通り、また一隊はアフリカの西岸を通り喜望峰をまわり、マダガスカルからインド洋へ、マラッカ海峡を通過、ベトナムのカムラン湾、分かれていた隊もヴァン・フォン湾で合流する。北

欧から南下し炎熱の海、激浪の海を越えて、いよいよ極東を目指すところまで来た。戦艦八隻、巡洋艦・駆逐艦等総数三十八隻、煙突を黄色に塗り、全艦に聖アン

話は日露戦争、日本海海戦にさかのぼる。明治三十七(一九〇四)年十月十五日、北欧リバウ港からウラーの大声援に送られて、バルチック艦隊、第二太平洋艦隊が出

河を通り、また一隊はアフリカの西岸を通り喜望峰をまわり、マダガスカルからインド洋へ、マラッカ海峡を通過、ベトナムのカムラン湾、分かれていた隊もヴァン・フォン湾で合流する。北

欧から南下し炎熱の海、激浪の海を越えて、いよいよ極東を目指すところまで来た。戦艦八隻、巡洋艦・駆逐艦等総数三十八隻、煙突を黄色に塗り、全艦に聖アン

島の島影だとおもった。ところが島がどんどん動いてきたことによつて、船だと気がついた。ただの船でなく軍艦であった。旗もみえた。旭日旗でなく、みたくともない旗であった(ロシアの軍艦だ)(坂の上の雲)彼は艦隊のまっただ中にいたのである。奥浜は宮古島の島庁に告げ、電信施設のある石垣島に、久松の垣花善(かきはなぜん)ら五人の若物達。百七十キロ先の石垣島へサバニを漕いで伝えたのである。海軍に届いたのは二十八日、日本海海戦は既に日本の大勝利に終わっていた。しかし後にその行動が明るみになり、昭和のはじめに、表彰され、美談として巷間で話題となったのである。これを記念して久松の五勇士として碑が建てられたのである。碑は平成十七年一〇〇周年を記念して新しくつくりかえられた。



宮古の海岸にて

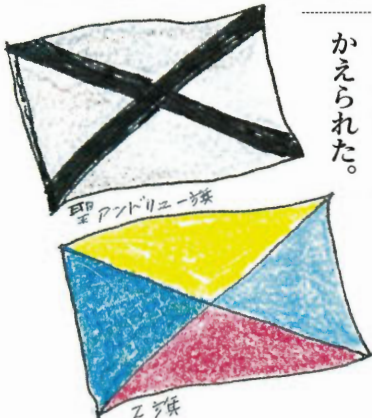


記念碑



久松五勇士顕彰碑

指すところまで来た。戦艦八隻、巡洋艦・駆逐艦等総数三十八隻、煙突を黄色に塗り、全艦に聖アン



聖アンソニー旗

五旗

# 第五五九回 宗像大社歌会詠草

大野展男選 毎月25日メット



福津市 中央 池浦 千鶴子

寒き日は湯タンポ抱き起き出でて孫のやうだとおどけて見せる

評 生命力のみなざる幼孫のあたたかきを知る一首。初句は「寒き朝」がいい。

福津市 星ヶ丘 佐々木 和彦

宵しぐれ灯のともりたるビニールのハウスにそそぎ音をたており

評 宵しぐれの語が情景の雰囲気立ちあがらせている。結句は「音たててをり」の方が流動感がある。

福津市 若木台 野間 精一

選別を外れしトマトもらひきて天然塩ふり夕餉の菜とす

評 見栄を気にして高い買物をする消費者に対する作者の怒りが伺える一首。少し直した。

北九州市 八幡西区 吉田 ウト子

はるかより父が手に撒く花びらの凝るや白く帆柱山初雪

評 父恋いのうた、巧い一首。四句は「凝りたるならむ」がいい。

うきは市 浮羽町 向 則正

師走なかば狭庭のすみの朝顔は小さき花ひとつひそやかに咲く

評 ひそやかななどの気分語はなるべく使わず下句は「紺の小さき花をひらけり」とし定型に納めることが大切。

福津市 中央 中村 勇

故里は近くにあれど寄ることなく聞くことばかり去りて七十年

評 語順を変えて「故里を去り七十年近けれど寄ることなく聞くことばかり」として、すっきりしたい。

宗像市 東旭ヶ丘 天野 玲子

庭の辺の水仙いけたる玄関に七日を過ぎれどよき香漂ふ

評 これは上句の語順を「玄関に活けたる庭の水仙は」としてはいかがですか。

宗像市 田野 森 甲子

孫に曾孫そろひ迎ふる鼠年アロエの花の七つを咲けり

評 上句、今一つ歌意がはつきりしないので「孫も曾孫もともに迎へし子の年を」とし、結句を「七つ咲きたり」としたい。

宗像市 田久 巻 桔梗

孟冬の社に舞ひの練習をくりかへす巫女の裳裾ふるへり

評 裳裾のふるへたのは風のためか、緊張のためかはつきりしない。「孟冬の社に舞ひをさらひをり裳裾ゆらして五人の巫女さん」はどうですか。

北九州市 戸畑区 田中 ハツセ

冷えしるき日のつづくなか盆栽の白梅ほころぶ二輪三輪

福岡市 南区 加野 シノブ

新玉の年を迎えて八十路なり家人のわれを支えてくれて

宗像市 日の里 大和 美由紀

うつつらと雪の積りし元日の朝すがすがし畑を巡る

宗像市 光岡 則松 芳子

新年に目覚めて白く積りをり寒風のなか舞う新雪は

福岡市 南区 井田 有久衣

暖かき陽ざしに墓参す山茶花の赤き花咲き彩るなかを

福津市 光陽台 香月 照子

冬空を吹きくる風は千の風我も世界を見てまわりたし

### 選者詠

雨を呼び風をひき寄せ冬の雷気随気儘にひかりとどろく

上げ潮の流れに乗りきて段のそば口吻スマートにさよりは泳ぐ

研ぎあげて出刃も薄刃も切れのよし模様あざやけき石鯛料る

# 第五三四回 俳句作品集

宗像市 日の里 花田いつ枝

明けやらぬ寒九の響き救急車

宗像市 光岡 白土 凌一

梅咲きしめじろ待つかな吾心

### 編集後記

愚息が生まれようか、当大社以外の神社のお守りや縁起物を、社務やプライベートで行く先々の神社で沢山受けてしまいます。どの神社にも様々な授与品がありますが、小生が惹かれるのは、その神社や御祭神を上手く表現した洪めのもので、神様には失礼かもしれませんが、シンプルながらも光るデザイン性の高さ、世相を反映し環境に配慮したエコロジーなもの、そしていつの時代の、どんな神職さんがどんな思いを込めて担当されたのかが思い浮かんで、グツとくるのです。参拝者の傾向をみると、四十歳を過ぎると人生経験も豊富なためか、特にこだわりはないように思えます。しかし、若い三十歳以下には「どんなものが授与品としてあるのか」という好奇心がこちらに伝わってきます。▼四十代以上に受け入れられる不変のもので、三十代以下には「こういうものだ」と導くことができる、両者に共通する普遍性をもつもの。そんな授与品を、参拝者の方々も無意識に求められているようではありません。神道は生き物、不変でありながら普遍であって、平成の宗像信仰に相應しく、神社神道を表現する授与品とは何か、もうしばらくは追いつけそうです。(M.O)

宗像大社社務所 発行所

〒811-3505 福岡県宗像市田島  
電話 0940-62-1311(代)  
発行人 葦津幹之  
編集人 大塚宗延  
制作 セネラルアサヒ  
印刷 セネラルアサヒ

定価1年送料共1,000円